



コミコミスク

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 150

2022

2. 16

「松が丘サミット」が開催されました

対話の中から見えてきた新たな課題 本質を問い直すことの大切さ

2月5日(土)に「松が丘サミット」が開催されました。本来ならオープンスクールで子どもたちが計画した交流の場「楽学交祭」を開催する予定でしたが、第6波の中でのオープンな開催は取りやめとなってしまいました。しかし、6年生からバトンを受け継いだ5年生の初めての「松が丘サミット」であり、サミット第5回生になる子どもたちにまず経験をということで、地域の方と保護者と子どもたちがオンラインでつながっての開催となったようです。地域の方は会議室に集まっただき、保護者の方は自宅からの参加という形での開催で、保護者の方もクラスの2/3以上の参加があり、子どもたちの提案に鋭くあたたかく切り込んでくださいました。



	開始時刻	5年1組提案	5年2組提案
	9:30~	各担任挨拶&説明	
①	9:35~	運動の会 プロジェクト	タブレットを使って仲良くなる ろうプロジェクト
②	9:50~	音楽(おしゃべり) プロジェクト	自然とふれあおう プロジェクト
③	10:30~	脱出迷路 プロジェクト	ボードゲーム・百人一首・手 品教室プロジェクト
④	10:45~	図書室開放 プロジェクト	クイズなぞなぞ プロジェクト
⑤	11:00~	折り紙・工作 プロジェクト	イラスト・裁縫・外国語 プロジェクト

子どもたちもタブレットの扱いにも慣れた様子で、中にはアニメーション的な動画を作成してのプレゼンもあり、子どもたちの成長にうっとりしてしまいました。普通なら「うまくいったね、万々歳」といったところですが、「なんのための交流なんだろう?」「なぜ社会貢献なの?」といった疑問が地域の方が集まっておられた会議室で出たそうです。会議室にいた教師がその声を

聞き逃さず、その場でミニ熟議が始まったそうです。なぜ「松が丘サミット」を開くのか、なぜ「地域での交流」・「地域の中での活動」が必要なのか、本質をまさしく地域の方がついてくださったのだと思います。この本質を学校・地域・保護者で熟議し、ゴールを共有し、協働していく戦略を練るのがコミュニティ・スクールなんだと再認識させられました。モデル校になって5年を終えようとしている今、本当の意味で、コミュニティ・スクールのスタートラインに立てたような気がします。教職員の視点だけでなく、保護者の視点・



第5回 みんなでラボろう！！

**松が丘小学校
勝手に研究発表会**

話題提供: 明石市立松が丘小学校
「前提の問い直し 本質からスタートすることの大切さ」

コミュニティ・スクールモデル校として指定を受け5年
暗中模索・手探りの中で見えてきた
“未来を生きる子どもたちに必要な学び”
ここで一度立ち止まり
これまでの取組を振り返り、本質を問い直し
新たなスタートを切りたいと考えています
皆さんからの声をお聞かせください
明石市立松が丘小学校長

日時 2022年3月4日(金) 15:30~16:30
※最大延長17:00まで(途中退出可)

方法 Zoomによるオンライン開催
※会議室ID・PWは後日連絡

対象 学校関係者・市民(市内外問いません)

お申込み・お問合せ
お申込み方法:
お名前、ご所属(学校名・市民等)、メールアドレスをご記入のうえ下記アドレスまで

TEL: 078-918-5055 Mail: a_kitamoto@city.akashi.lg.jp
明石市教育委員会事務局学校教育課 担当: 北本

地域の方の視点は、地域の中で、みんなで子どもを育てるためには欠かせないと改めて実感させられました。教職員と地域の皆さんと保護者の皆さんで“なぜ今コミュニティ・スクールなのか”の本質の熟議が始まりそうな予感がします。

そこで、コミュニティ・スクールのモデル校に指定され5年を終えようとしている今、一度立ち止まり、今までの取組を振り返り、本質を問い直していく時期に来ているということで、「松が丘小学校 勝手に研究発表会」として“第5回みんなでラボろう”を開催します。学校関係者だけでなく、市民の皆さんにもたくさん参加していただき、みなさんの声を聞かせていただけたらと思っています。皆さんのご参加をお待ちしています。

そんな松が丘小コミュニティ・スクールでブックスポット設置計画がすすんでいます

コミュニティ・スクールの取組を始めて5年が終わろうとしています。そうした中で、より地域の方が学校に関心を持っ

ていただけるよう、また本を通して人とのつながりが広がればと西校舎1F ホールにブックスポットの開設に向け準備を進めておられます。明石市内には図書館や公共の場だけではなく、自宅やお店に本棚を設置して地域の方やお客さんに自由に本を読んでもらったり、貸し借りができる私設の拠点がたくさんあります(詳しくは明石まちなかMAP)。4月にはそんなブックスポットが一つ増えそうです。松が丘コミスクではブックスポット用の本を集めています。もしご家庭にご不要の本があれば松が丘小学校までご連絡ください。

令和3年度 地域・学校協働推進全県研修会が開催されました

2月9日に兵庫県教育委員会社会教育課主催の「令和3年度 地域・学校協働推進全県研修会」が神戸市教育会館をメインにオンラインとでハイブリットで開催されました。

前兵庫教育大学大学院教授・CSマイスターの小西哲也先生から「地域と学校の連携・協働のこれからについて～今、なぜコミュニティ・スクールなのか～」をテーマにお話をお聞きすることができました。1996年の中教審答申から始まった教育改革から始まり、最新の情報までお話を聞くことができました。これまで何回か小西先生のお話を聞かせていただく機会がありましたが、より社会状況やこれからの日本の在り方を含めコミュニティ・スクールの背景を押さえながら、“今なぜコミュニティ・スクールなのか”の本質を熱く語っていただきました。そんな小西先生には“明石コミちゃんねるプロジェクト”のアドバイザーになっていただいております。コミュニティ・スクールの理解と推進を図るコンテンツと一緒に考えていただけることになっています。そんな“明石コミちゃんねるプロジェクト”も覗いてみられるのはいかがですか。お待ちしております。(文責:北本)